

鉄道のまちの 行楽地

- 大宮公園と大宮氷川神社 -



令和
7年

12月6日 土

開場

13:30

開演

14:00

終演予定

16:00

レイボックホール

RaiBoC Hall.

さいたま市民会館おおみや

小ホール(7階)

定員300名

申込
方法

以下①・②のいずれかの方法でお申込みください。

① 文化振興事業団HPまたは二次元コードから申込フォームにアクセス

URL <https://formok.com/f/rqrn5i7g>

② SaCLaインフォメーションセンターへ電話

申込
期間

11月5日(水)9時から、12月4日(木)23時59分まで

※先着順 ※電話での申込は17時00分まで

問い合わせ

SaCLaインフォメーションセンター

TEL 048-866-4600

営業日 火～土の9時から17時

(日・月・祝日は休み。月曜が祝日の場合は翌日火曜も休み)
※お電話のおかけ間違いにご注意ください。



さいたま市
PRキャラクター
つなが電又ウ



鉄道文化シンポジウム開催目的

鉄道の開通により東京近郊の「行楽地」へと変容(=「近代化」)した大宮公園・大宮氷川神社。その歴史的な経緯を明らかにするシンポジウムを開催し、さいたま市と鉄道とのかかわりを考え、市民等にさいたま市の鉄道文化に関する理解と関心を深めていただくことを目的とする。

令和7年メインテーマ

鉄道のまちの行楽地 - 大宮公園と大宮氷川神社 - 大宮公園・大宮氷川神社の「近代」を考える

鉄道は貨客の輸送手段ですが、大宮公園・大宮氷川神社を東京近郊の「行楽地」に変えたのも鉄道です。鉄道の開通が大宮公園・氷川神社を東京近郊の行楽地に変えていく過程を考えていきます。皆様のご参加をお待ちしております。

出演者

コーディネーター

・老川 慶喜(立教大学名誉教授)

司会

・佐久間 愛(フリーアナウンサー)

パネリスト

・平山 昇(神奈川大学国際日本学部准教授)

・大矢 悠三子(さいたま市史編さん専門委員)

申込方法 ①インターネットでお申込み
②SaCLaインフォメーションセンターへ電話でお申込み

入場無料 自由席 先着300名
※定員になり次第終了とさせていただきます

STEP1

二次元コードまたは、URLから
申込フォームにアクセスします。



申込は
こちら

<https://formok.com/f/rqrn5i7g>
スマートフォン、パソコンどちら
でもお申込みいただけます。

STEP2

申込内容を記入します。

必須事項

- ・氏名
- ・メールアドレス
- ・電話番号
- ・鑑賞者数(1申込10名まで)

入力内容をご確認のうえ、

送信する を押してください。

STEP3

申込完了メールが届きます。

メールが届かなかった方はお手
数ですが、下記までお問合せ下
さい。

※bosyuu@saitama-culture.jp
からご連絡いたしますので、迷惑メー
ルフォルダなどに届いていないかをご
確認ください。

お問合せ

SaCLaインフォメーションセンター

TEL 048-866-4600

営業日 火～土の9時から17時

(日・月・祝日は休み。月曜が祝日の場合は翌日火曜も休み)
※お電話のおかけ間違いにご注意ください。

RaiBoC Hall(市民会館おおみや)

〒330-0846

さいたま市大宮区大門町 2-118

大宮門街 4-8F

【大宮駅をご利用の場合】

JR線・ニューシャトルほか 大宮駅東口より徒歩3分

※専用の駐車場等はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

